

## 9月議会報告をお届けします

### 菅新政権誕生

8月28日に安倍前首相の突然の辞意表明を受け、自民党新総裁選挙、菅政権誕生とこの数週間政局は大きく変わりました。しかし、菅政権は安倍政権踏襲を基本としており、新内閣においても残留者の多い内閣となりました。当面、いつ衆議院の解散・総選挙になるのかもおかしくないとも言える状況です。政権争いに対決する決定的な対決軸のない中、また、候補者が決まっていない選挙区が多い中での選挙では厳しい選挙戦が予想されます。市民の暮らしを考へる候補者を、今こそ選ぶ事が必要だと思います。

### 枝廣市長の決意



枝廣市長の期目のスタートとなった9月議会では、市長の決意表明が述べられました。新型コロナウイルス感染症から市民の命と健康を守りつつ、社会経済活動を回復させていくこと、人口減少・少子高齢社会の進行する中での活力ある地域づくりに取り組むとのことでした。

### 新型 コロナウイルス 感染症対策

せん。感染させない、重症化させない取り組みを市と市民で取り組む。市民生活の不安解消に全力をあげましよう。

### 新たな施策（市長の方針より）

子どもたちの自然体験への好奇心を掻きたた、ホンモノのものづくり技術やテクノロジーを楽しく体験できる学びの場「子ども未来館」構想を具体化します。また、エフエフコリムの閉館に伴い廃止となった「えほんの国」は、新たな機能を備えた「えほんの国」の再開をめぐり、当面楽しめるイベントを企画するなど早く再開したい。

市民病院においては、小児救急医療拠点病院の指定をめぐり、周産期医療の強化を図ります。また、がん医療、救急医療として高度専門医療の機能強化を図ります。このため、福山市市民病院本館の増改築に取り組み高度で良質な医療提供体制を整えます。

### 私の 一般質問から



9月議会の一般質問では、新型コロナウイルス対策、熱中症対策、子ども未来館・えほんの国、家庭の経済格差が教育におよぼす影響等の項目に亘っての質問になりました。

新型コロナウイルス関係では、市内の企業倒産や従業員解雇について、また、生活保護の相談・申請、今後の

課題等の状況について質問しました。福山においては9月段階での影響はわずかでしたが、今の状況が長引けば、倒産・解雇・生活相談も増えてくる事が予想されます。今から今後に備え、一人ひとりの市民に寄り添った相談体制の確立を要望しました。

### 本会議・文教経済委員会では



8月下旬市内の中学校で授業中、熱中症で生徒が搬送されました。授業やクラブ活動、登下校での安全の取り組みを一層強めるよう要望。空調施設が未整備の特別教室への設置拡大、教育上の配慮等も求めました。

タブレットの貸与（小1〜中3、全児童生徒対象）については、教職員の研修・サポート要員の確保についての検討や、家庭環境がさまざまで異なる中で、全ての児童生徒に充分実りある取り組みになるよう要望しました。



先日、絵本の読み聞かせに小学校5年生の教室に入りました。ソーシャルディスタンスで教卓のすぐ前まで子どもがいました。読み聞かせのためには、児童全員から絵本が見えるようにして読むことができました。改めて、35人学級・30人学級の早期実現の必要性を強く思いました。文科省は1年生のみ35人学級にしたいだけで、201年から9年間、2年生への拡大もなく、果敢独措置で35人学級にしたいです。一日も早く、何よりも子どもたちのために少人数学級を実現しなければと強く思いました。

### 暮らしの全てが変わっていく （コロナ禍での生活）

「コロナによって多くの点で暮らしが変わってしまいました。自粛自粛で外出させられた時期があったものの今は少し改善されてきました。全国状況も最悪の事態から改善があり、GOTOトラベル」「GOTOトラベル」等の取り組みは開始されたものの、暮らしと経済のバランスの難しい綱渡りの状況が続いています。この状態が続いていくと続くのかと聞かれても、残念ながら誰も明確には答えられません。

今、入院患者、施設入所者や家族にとってはずいぶん時期が続いています。辛いオンラインやテレビ電話での面会が可能なもの、時間や回数制限もあり直接手を握れるものはできないし、体に触れることもできません。

今年地域の祭りや敬老会、学校での運動会・文化祭の開催も難しくなっています。世界の叢智を集め、フクシンの早期開祭が待たれています。皆が一日も早い実用化を待っています。

